

決算報告

納められた税金がどのように使われ、どのような財政状況なのか。平成30年度の町の財政状況についてお知らせします。



町の会計は、大きく分けて一般会計と特別会計、そして企業会計に分類されます。一般会計は、町の仕事の中心部分を賄う会計、特別会計は特定の資金運用や事業を行っている会計、企業会計は独立採算で運営を行っている会計です。

今回、概要を報告する①一般会計の平成30年度の歳入総額は115億283万7千円、歳出総額は107億1,313万5千円、翌年度に繰り越す財源を差し引いた実質収支額は7億3,455万9千円となり、黒字決算となりました。

平成30年度の主な事業の成果

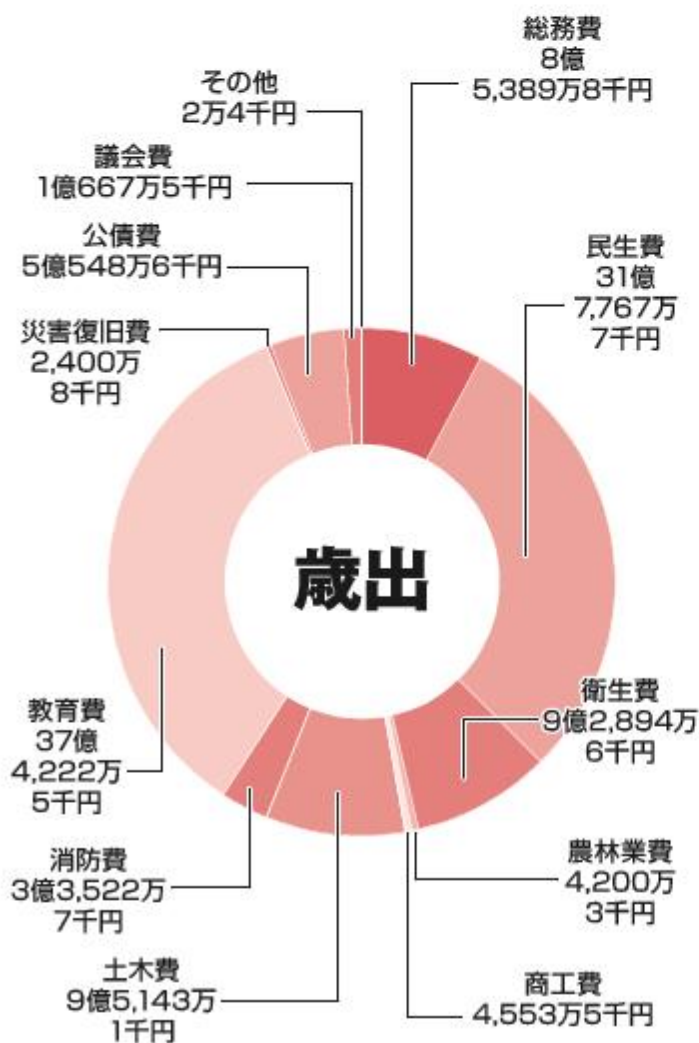
●未来ある子どもたちのために

着工から2年の月日を経て平成31年4月に開校した念願の中学校は、三郷町の子どもたちが未来に向かっ

①一般会計 福祉や教育、道路整備などにかかる基本的な会計

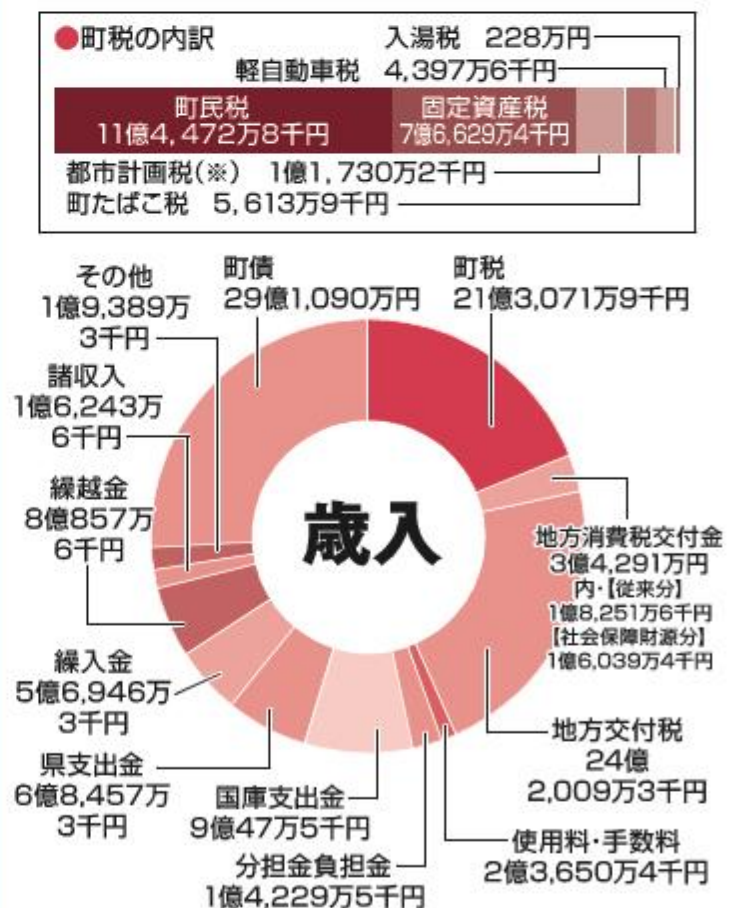
歳出

総額 **107億1,313万5千円**



歳入

総額 **115億283万7千円**



(※)町税のうち、都市計画税は都市計画事業などにかかる費用に充てるために課税する税で、入湯税とともに目的税と呼ばれます。三郷町では、都市計画税は下水道整備事業に、入湯税は観光振興事業に活用しています。

て元気に輝いてくれることを願って、建設しました。

また、校舎には、全国でも例をみない、新たな取り組みとして、消防団の屯所を併設。福祉避難所も整備した町の防災拠点としての機能も有しています。

●子育てのしやすいまちづくり

平成30年4月に子育てワンストップ体制を確立し、9月には国に先駆けて保育料第2子無償化を実施しました。

●災害に強いまちづくりに向けて

三郷町は平成29年の台風21号で大きな被害を受け、その後も平成30年7月豪雨等と災害が続きました。その復旧を行い、新たな災害対策のため、地域防災計画の見直しや災害時の浸水被害を最小限にするため、雨水溢水地区の調査も行いました。

●環境に配慮したまち、三郷

空調機や照明設備を消費電力の少ない機器に更新や温室効果ガスの排出を削減する「地球温暖化対策実行計画」を策定。(今年度には両小学校の教室にエアコンを設置しています)

●健康寿命日本一を目指して

健康と要介護の中間的狀態と言われるフレイルを早期に発見し、健康な状態に戻すため、フレイル健診に必要な体組成計を取り入れ、介護予防に努めました。

◇基金◇

基金は法律や条例に基づいて設置し、歳入から歳出を引いて残っている金額があった場合に積み立てし、臨時の出費や財源不足が見込まれる場合に取崩して事業費に充てます。

基金の現在高	平成29年度末現在高	平成30年度現在高
財政調整基金	13億494万9千円	12億625万2千円
減債基金	7,486万8千円	7,589万2千円
公共施設整備基金	3億9,821万円	1億5,513万2千円
その他基金	6億6,403万円	7億8,371万6千円
合計	24億4,205万7千円	22億2,099万2千円

◇財政健全化判断比率◇

自治体が財政破綻することを未然に防ぎ、破綻しそうな自治体の財政を早期改善するため、財政状況を四つの指標として数値化しています。

三郷町では、四つの指標全て、基準値内の結果となりました。

健全化判断項目	(平成30年度比率)	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	—	15.0%	20.0%
②連結実質赤字比率	—	20.0%	30.0%
③実質公債費比率	0.0% (3力年平均)	25.0%	35.0%
④将来負担比率	40.3%	350.0%	—

※早期健全化基準は、財政状況が悪化しつつあり、早期に改善が必要な基準(いわゆる「イエローカード」)、財政再生基準は、行政運営に国や県の関与や勧告を受ける基準(いわゆる「レッドカード」)です。

②特別会計

特定の事業を行うために一般会計と区別して処理する会計

会計名	歳入	歳出	実質収支額
住宅新築資金等貸付事業	1,876万6千円	2億4,870万3千円	△2億2,993万7千円(※)
し尿浄化槽管理	121万7千円	85万3千円	36万4千円
国民健康保険	24億2,866万2千円	23億8,953万1千円	3,913万1千円
介護保険	19億1,441万3千円	19億736万2千円	705万1千円
後期高齢者医療	3億5,275万円	3億5,041万5千円	233万5千円

※翌年度繰上充用金をもって補てんしました。

③企業会計

地方公営企業法の適用を受ける公営企業の会計

会計名	収益的収入		収益的支出		差引
水道事業会計	営業収益	4億9,749万5千円	営業費用	6億4,918万8千円	△6,841万4千円
	営業外収益	9,279万4千円	営業外費用	935万円	
	特別利益	8万4千円	特別損失	24万9千円	
	5億9,037万3千円		6億5,878万7千円		
	資本的収入		資本的支出		差引
	1億7,749万2千円		3億1,592万8千円		△1億3,843万6千円

資本的収入額が資本的支出額に不足する額1億3,843万6千円は、過年度損益勘定留保資金および当年度損益勘定留保資金で補てんしました。

会計名	収益的収入		収益的支出		差引
下水道事業会計	営業収益	1億9,888万9千円	営業費用	4億9,553万9千円	6,420万円
	営業外収益	4億8,242万1千円	営業外費用	7,370万7千円	
	特別利益	0円	特別損失	4,786万4千円	
	6億8,131万円		6億1,711万円		
	資本的収入		資本的支出		差引
	3億3,772万9千円		3億5,765万3千円		△1,992万4千円

資本的収入額が資本的支出額に不足する額1,992万4千円は、消費税および地方消費税資本的収支調整額および当年度損益勘定留保資金で補てんしました。